

12/8 土

2018.

13:00~17:00

会場

早稲田大学27号館地下2階

小野記念講堂

東京都新宿区戸塚町1-103

※東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分

《懇親会》17:30~19:30

早稲田大学25号館 大隈ガーデンハウス
カフェテリア2階（大隈講堂裏）

基調講演 13:30~15:00

司会・コーディネーター：吉原浩人（早稲田大学日本宗教文化研究所所長・同文学学術院教授）
河野貴美子（早稲田大学日本古典籍研究所所長・同文学学術院教授）

線刻鏡（鏡像）の受容と展開—呉越・遼・高麗と日本—

瀧朝子（大和文華館学芸部係長）

仏画からみた高麗と日本の雷神

魯成煥（蔚山大学校人文大学日本語日本学科教授）

入唐・渡天を執行した日本僧転智

王勇（浙江大学人文学院教授、日本宗教文化研究所招聘研究員）

呉越と平安朝の漢学

後藤昭雄（大阪大学名誉教授、日本古典籍研究所招聘研究員）

パネルディスカッション 15:20~17:00

○基調講演者全員登壇



水月観音鏡像 高麗時代 個人蔵

12/9 日

2018.

10:00~17:00

会場

早稲田大学戸山キャンパス

33号館3階 第一会議室

東京都新宿区戸山1-24-1

※東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分

研究発表1 10:00~11:30

司会：李美子（四天王寺大学人文社会学部准教授、日本宗教文化研究所招聘研究員）

遼宋海上交流の実態について

—遼・高麗・日本における宋磁出土傾向の比較を手掛かりに—

洪性珉（早稲田大学文学学術院総合人文科学研究センター助教）

日本の経塚にみる呉越の仏舎利信仰の影響

安藤章仁（早稲田大学文学学術院非常勤講師、日本宗教文化研究所招聘研究員）

江浙地方と日本におけるボタン栽培の始まり—呉越国からの伝来の可能性—

久保輝幸（浙江工商大学東方語言文化学院副教授）

研究発表2 13:00~14:30

司会：洪聖牧（蔚山大学校人文大学日本語日本学科助教授）

呉越国と日本の交流に関する日中研究の諸問題

江静（浙江工商大学東方語言文化学院・東亜研究院院長／教授、日本宗教文化研究所招聘研究員）

『往生西方浄土瑞応刪伝』と平安期往生伝—臨終描写における異同を中心に—

崔鵬偉（早稲田大学文学研究科博士後期課程2年、日本宗教文化研究所RA）

現代絵本「かぐや姫」に描かれる天女のイメージの起源を探る

—図像と服飾史を手がかりに—

小松麻美（蔚山大学校人文大学日本語日本学科助教授）

研究発表3 15:00~16:30

司会：久保輝幸（浙江工商大学東方語言文化学院副教授）

日韓の医療交流について—高麗朝廷による医者派遣要請をめぐる—

洪聖牧（蔚山大学校人文大学日本語日本学科助教授）

菅原文時「為右丞相贈大唐呉越公書状」をめぐる考察

七田麻美子（埼玉大学基盤教育研究センター准教授、日本宗教文化研究所招聘研究員）

呉越・宋・高麗への返書・返牒と自讃—大江家伝来の外交文書と対外意識—

吉原浩人（早稲田大学文学学術院教授、日本宗教文化研究所所長）



倒壊前の雷峰塔 図版出典：『西湖旧跡』浙江人民出版社 2000年

※8日（土）の懇親会にご参加いただける方は、以下のアドレスに事前のお申し込みをお願いいたします。

◎お申し込み先：総合人文科学研究センター年次フォーラム事務局 <2018forum-kskai@list.waseda.jp>

お申し込みの際には、ご所属（大学名・学年等）もお知らせください。

5日程度経っても、確認の返信がない場合は、再度お送り願います。

※上記以外のお問い合わせは、下記吉原のアドレスまでお願いいたします。

総合人文科学研究センター研究部門「グローバル化社会における多元文化の構築」代表・吉原浩人 <yoshi-w@qa2.so-net.ne.jp>



RILAS 早稲田大学総合人文科学研究センター
https://www.waseda.jp/flas/rilas/